



健康の豆知識

けんこうのまめちしき

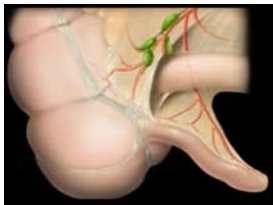
「医学情報Vol. 1」No.1(発行日:平成18年12月1日)【発行:相模原協同病院 企画・編集:教育・広報委員会】

「急性虫垂炎」について

「盲腸」の通称で知られる急性虫垂炎は、世間一般では簡単に治る病気とされています。皆さんも思っていないですか？しかし、炎症の強さによっては、時として命に関わる事もあるのです。今回は「急性虫垂炎」のお話をします。

急性虫垂炎は俗に「盲腸」といわれていますが、実は盲腸は虫垂がつながっている大腸の部分の名称なのです。虫垂の炎症ですので、「急性虫垂炎」が正しい呼び方です。

正常な虫垂は、太さは4~5mm、長さは5cm程度です。この虫垂に何らかの原因で内腔が閉塞し感染により炎症がおきると、急性虫垂炎となります。

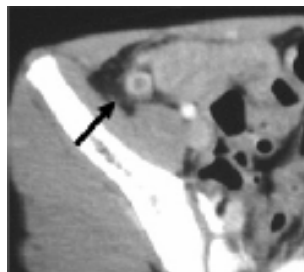
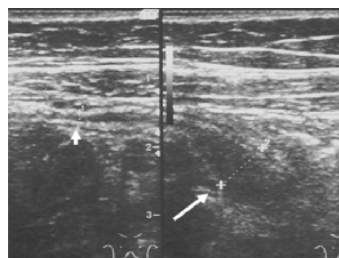


■急性虫垂炎にも炎症の程度があります■

- ① カタル性:最も軽度な炎症で虫垂が腫れて充血している状態
 - ② 蜂窩織炎性:炎症が強くなり虫垂内部に膿がたまる状態
 - ③ 壊疽性:さらに炎症が強くなり虫垂の壁が腐っている状態
 - ④ 穿孔性:壁に穴があいてしまった状態
- ③や④の状態にまで進むと腹膜炎を起こし命にかかわることがあるのです。

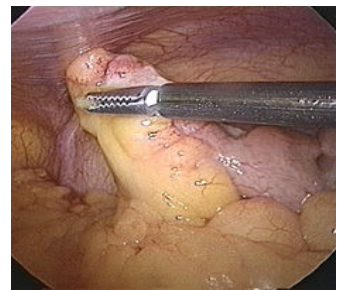
症状としては最初に心窩部(みぞおち)に痛みがおき、徐々に右下腹部に痛みが移ります(もちろん全ての人が同じではありません)。その他、食欲不振、発熱、嘔気・嘔吐も認めることがあります。

診断は腹部所見、血液検査、腹部超音波検査、腹部CT等で行います。ただし、最終的にはおなかの中をみないと、本当に急性虫垂炎かどうかの診断がつかないことがあります。他に右下腹部痛を起こす病気として①結腸憩室炎 ②回盲部リンパ節炎 ③子宮付属器炎 などがあります。



治療には保存的治療と外科的治療があります。保存的治療は絶飲食とし点滴、抗生剤による治療で、いわゆる「ちらす」という治療法です。

外科的治療は手術になります。保存的治療にするか外科的治療にするかは腹部所見、血液検査所見、画像所見(腹部超音波検査、腹部CT)を総合して判断します。手術には2つの方法があります。



- ① 開腹手術:従来行われてきた手術で、右下腹部を斜めもしくは縦に約5~10cm切って行う方法です。
- ② 腹腔鏡下虫垂切除術:腹部に3~4箇所、5~12mmの穴をあけ、そこから内視鏡と手術用の器具を挿入し、テレビモニターを見ながら行う手術です。

どちらの手術も虫垂を根元で縛った後に切って、虫垂を除去する手術です。

ただし稀に虫垂周囲の炎症が非常に高度の場合には、回盲部切除(小腸と大腸の一部を切除し、つなぐ)となる事があります。また、腹腔内に膿が溜まっている場合にはドレーンという管を挿入します。

入院期間は通常は5~10日間です。しかし、炎症が強かった場合にはそれ以上となることがあります。いずれにせよ早期治療によって術後合併症や入院期間を減らすことができるので、症状があれば我慢せずに早めに受診することが大切です。

●今回のお話を書きましたのは当院の・・・

- ◆診療科名 外科
- ◆役職・氏名 吉田徹 (よしだとおる)
- ◆専門分野 一般外科・消化器外科
- ◆認定資格 専門医